

1. 単元名 発表原稿とスライドについて

2. 本時の概要

本時は、これまでの探究活動の成果を校内発表会で発信するための準備段階として位置づけられる。発表はポスターセッション形式で行われ、3分という限られた時間内で自らの研究内容を他者に伝える必要がある。そのため、情報を取捨選択し、聞き手に伝わる構成や視覚的表現を学ぶことが不可欠である。本授業の前半では、日常の気づきを言語化する「LIFEログ」を行い、自己の学びを客観的に捉え直す。後半では、具体的なスライド構成(研究背景、目的、本論、結論など)と原稿の書き方について指導を受ける。スライド作成においては、文字を羅列するのではなく、色や文字サイズ、図式化を活用して要点を際立たせる「デザインの要領」を習得させる。設定の理由として、中1段階の生徒にとって、膨大な調査内容を3分間に凝縮することは難易度が高い。そこで、A3用紙6～8枚という具体的な枚数制限や、原稿の各項目における役割(「つかみ」や「専門用語の説明」など)を明確に提示することで、論理的なプレゼンスキルを養うことを狙いとしている。また、11月の発表会本番に向けて、ICT端末を活用した効率的な資料作成能力と、計画的に準備を進める姿勢を育むために本時を設定した。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:**「LIFEログ」の意義とループリック(レベル3)を理解し、日々の体験から自己の成長や課題を言語化する「成長に繋がる振り返り」を記述できるようになる。
- **構成に基づいた資料作成:**3分間のポスターセッションを想定し、提示されたスライド構成(背景、目的、本論、結論等)に沿って、必要な情報を整理したスライドを計6～8枚作成できる。
- **効果的な伝達表現の理解:**聞き手にとって分かりやすい発表原稿の構成を理解し、スライドにおいては文字の大きさや色の活用、要約を意識したデザインの工夫を試みることができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第17回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	①本時の内容確認 ・本日の授業の流れ(LIFEログ、発表原稿とスライド作成、今後の予定)を把握する。	・本時のゴールが発表原稿とスライドの作成開始であることを明確に伝える。
1分	②LIFEログの説明 ・スクールタクトを開き、「10月」の課題を選択する。文字サイズは自動調整されるため変更しない等のルールを確認する。	・日々の気づきを記録し、次に活かすという目的(アイデアの種)を再確認させる。
8分	③LIFEログのワーク ・日々の生活の中での「おっ!」「あれっ?」と感じたことを自分の言葉で4～5行程度書く。	・書く内容に困っている生徒には、教員が個別に声掛けを行い、些細な気づきを拾えるよう助言する。
5分	④発表資料作成の指導 ・発表形式(3分のポスターセッション)やスライド構成、デザインの要領について説明を聞く。	・スライドはA3用紙で印刷するため、文字は詰め込まず、色やサイズで強調するコツを具体例で示す。
35分	⑤原稿・スライド作成ワーク ・Google Classroomに配信されたテンプレートを活用し、発表原稿とスライドを作成する。	・初めて聞く人にも分かるよう「専門用語の定義」を入れることや、「つかみ」の工夫をするよう巡回指導する。
【2時限目】		
49分	⑥原稿・スライド作成ワーク ・Google Classroomに配信されたテンプレートを活用し、発表原稿とスライドを作成する。	・初めて聞く人にも分かるよう「専門用語の定義」を入れることや、「つかみ」の工夫をするよう巡回指導する。
1分	⑦次回予告と締めくくり・提出期限までに資料を完成させる必要があることを確認する。	・期限を厳守させ、教員が印刷作業を行うプロセスを説明することで、計画的な取り組みを促す。